



平成30年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月8日

上場会社名 株式会社フルスピード 上場取引所 東
 コード番号 2159 URL <http://www.fullspeed.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友松 功一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長 (氏名) 栗田 洋 TEL 03-5728-4460
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

百万円未満切捨て

1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成29年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	9,820	2.2	751	27.6	756	31.5	345	△2.9
29年4月期第2四半期	9,611	31.1	589	30.4	575	30.6	355	5.9

(注) 包括利益 30年4月期第2四半期 342百万円 (△9.4%) 29年4月期第2四半期 378百万円 (12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	22.19	—
29年4月期第2四半期	22.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第2四半期	6,318	2,990	47.3	191.72
29年4月期	5,790	2,642	45.6	169.70

(参考) 自己資本 30年4月期第2四半期 2,985百万円 29年4月期 2,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年4月期	—	0.00	—	—	—
30年4月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	10.7	1,600	88.2	1,580	114.6	980	91.3	62.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期2Q	15,571,000株	29年4月期	15,571,000株
② 期末自己株式数	30年4月期2Q	ー株	29年4月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期2Q	15,571,000株	29年4月期2Q	15,571,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料）

速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などを背景に円安・株高傾向が続き、企業収益や雇用情勢に更なる改善の動きが見られ、緩やかな景気回復がみられました。一方で、海外景気の下振れリスクが懸念され、依然として先行きに不安が残る状況となっております。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場におきましては、平成28年には前年比13.0%増の約1兆3千100億円（出所：株式会社電通「2016年 日本の広告費」）となり拡大を続けております。

また、スマートフォンやタブレット端末の普及等によるデバイスの多様化、FacebookやTwitter、LINE、Instagramに代表されるソーシャル・メディアの普及、膨大なインターネットユーザー情報を処理する広告関連技術（アド・テクノロジー）を活用したプラットフォームの開発・高度化が加速する等、インターネットビジネス環境の変化は世界規模で進展しており、国内のみならずアジア圏においても更なる市場拡大が期待されております。

このような事業環境の下、当社グループは、“Ad Technology & Marketing Company（アド・テクノロジー & マーケティングカンパニー）”をコーポレートスローガンに掲げ、インターネットマーケティング事業や、「ADMATRIX DSP」、「afb」を中心とするアドテクノロジー既存事業の展開を強化しております。一方で、ブランディング広告のインターネットメディアへのシフトが急速拡大する中で、ブランディング広告に特化した取組の展開を実施するなど、アド・テクノロジーカンパニーへの転換を機とした取組を進めてまいりました。また、拡大する訪日インバウンド市場に向けて、訪日観光客向けアプリメディア「GoJapan」の展開を引き続き強化してまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,820,093千円（前年同期比2.2%増）、営業利益751,670千円（前年同期比27.6%増）、経常利益756,393千円（前年同期比31.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は345,571千円（前年同期比2.9%減）となりました。

<インターネットマーケティング事業>

インターネットマーケティング事業において、ソーシャルメディアマーケティング*1、リスティング広告*2、コンテンツマーケティング*3、アフィリエイト広告*4などの各種サービスの拡販に取り組み一方で、競争力の創造及び収益性の向上を実現するため、ヘルスケア関連領域での更なる専門性・優位性を持つべく、事業構造の転換を推し進めてまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は4,094,287千円（前年同期比14.6%減）となりました。

<アドテクノロジー事業>

アドテクノロジー事業において、拡大するディスプレイ広告市場を背景に、自社ブランドで展開するDSP*5「ADMATRIX DSP」を展開する一方で、拡大する動画広告市場に向けて、ブランディング広告に特化した取組の展開を開始し、積極的な拡販を図っております。

また、子会社である株式会社フォーイトにおいて、ASP*6として当社が自社開発したアフィリエイトプログラム『afb』の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに、引き続き順調に増加いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は6,998,542千円（前年同期比9.0%増）となりました。

<その他>

その他の区分には、情報メディアサイトの運営、広告ソリューションにおいて付随して発生するWEBサイト、パナー、及びLP制作等が含まれており、売上高は139,587千円（前年同期比112.6%増）となりました。

- *1 ソーシャルメディアマーケティング : ソーシャルメディア上での情報発信により、人々の繋がりを通じて拡散されるマーケティング手法。
- *2 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- *3 コンテンツマーケティング : 自社Webサイト等への訪問者を増やしたい顧客に対して、コンテンツの制作/配信をはじめとする各種インターネット広告手法を用いて課題解決するサービス。
- *4 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- *5 DSP (Demand Side Platform) : 広告出稿を行う広告主サイドが使用する広告配信プラットフォームのことで、広告主サイドの広告効果の最大化を支援するツール。
- *6 ASP (アフィリエイト・サービス・プロバイダー) : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況 (資産)

流動資産は5,511,582千円となり、前連結会計年度末に比べて459,087千円増加しました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は806,547千円となり、前連結会計年度末に比べて68,341千円増加しました。これは、ソフトウェア等の減損損失があったものの、長期未収入金、差入保証金の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は2,638,700千円となり、前連結会計年度末に比べて456,083千円減少しました。これは、主に短期借入金の減少によるものであります。

固定負債は689,199千円となり、前連結会計年度末に比べて635,660千円増加しました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は2,990,230千円となり、前連結会計年度末に比べて347,852千円増加しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,906,694千円となり、前連結会計年度末に比べ528,945千円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、411,815千円のプラスとなりました。これは、主に売上債権の増加額143,591千円があったものの、税金等調整前四半期純利益627,792千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、204,635千円のマイナスとなりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出79,913千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、321,368千円のプラスとなりました。これは、主に長期借入による収入880,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月9日に発表しました「平成29年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

また、上記の予想は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,377,748	2,906,694
受取手形及び売掛金	2,213,012	2,356,360
前払費用	88,467	62,273
繰延税金資産	205,577	160,900
未収入金	126,794	18,839
その他	41,530	7,452
貸倒引当金	△634	△937
流動資産合計	5,052,495	5,511,582
固定資産		
有形固定資産		
建物	194,891	195,714
減価償却累計額	△52,360	△63,548
建物(純額)	142,530	132,165
工具、器具及び備品	205,665	247,853
減価償却累計額	△152,504	△168,559
工具、器具及び備品(純額)	53,161	79,293
有形固定資産合計	195,692	211,458
無形固定資産		
ソフトウェア	324,412	286,530
その他	76,818	27,538
無形固定資産合計	401,230	314,069
投資その他の資産		
投資有価証券	40,211	40,236
関係会社株式	8,974	8,161
破産更生債権等	180,741	180,984
繰延税金資産	12,346	12,677
差入保証金	79,741	143,862
長期未収入金	—	76,071
その他	10	10
貸倒引当金	△180,741	△180,984
投資その他の資産合計	141,282	281,019
固定資産合計	738,206	806,547
資産合計	5,790,701	6,318,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,657,194	1,710,899
短期借入金	482,000	—
1年内返済予定の長期借入金	124,764	287,572
未払金	149,240	70,880
未払法人税等	139,678	245,316
未払消費税等	100,403	9,980
賞与引当金	114,400	125,501
その他	327,103	188,550
流動負債合計	3,094,784	2,638,700
固定負債		
長期借入金	33,340	669,000
資産除去債務	20,199	20,199
固定負債合計	53,539	689,199
負債合計	3,148,323	3,327,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	898,887	898,887
資本剰余金	869,887	869,887
利益剰余金	862,164	1,207,736
株主資本合計	2,630,939	2,976,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	60
為替換算調整勘定	11,396	8,759
その他の包括利益累計額合計	11,438	8,819
非支配株主持分	—	4,900
純資産合計	2,642,378	2,990,230
負債純資産合計	5,790,701	6,318,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	9,611,781	9,820,093
売上原価	7,871,219	7,875,499
売上総利益	1,740,562	1,944,593
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	465,408	537,584
地代家賃	83,884	97,206
貸倒引当金繰入額	127,674	546
賞与引当金繰入額	63,200	50,900
減価償却費	8,730	16,584
のれん償却額	9,710	1,524
その他	392,721	488,576
販売費及び一般管理費合計	1,151,330	1,192,923
営業利益	589,232	751,670
営業外収益		
受取利息	529	79
受取配当金	800	0
為替差益	—	3,696
その他	1,586	8,339
営業外収益合計	2,917	12,116
営業外費用		
支払利息	4,431	2,887
支払手数料	4,080	3,349
為替差損	7,944	—
持分法による投資損失	44	812
その他	300	343
営業外費用合計	16,800	7,392
経常利益	575,348	756,393
特別損失		
減損損失	—	128,600
特別損失合計	—	128,600
税金等調整前四半期純利益	575,348	627,792
法人税、住民税及び事業税	135,818	237,883
法人税等調整額	83,612	44,337
法人税等合計	219,430	282,221
四半期純利益	355,917	345,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,917	345,571

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益	355,917	345,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,323	17
為替換算調整勘定	5,123	△2,636
その他の包括利益合計	22,447	△2,619
四半期包括利益	378,364	342,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378,364	342,952
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	575,348	627,792
減価償却費	58,566	76,760
のれん償却額	9,710	1,524
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	127,261	546
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,586	11,101
受取利息及び受取配当金	△1,330	△80
支払利息	4,431	2,887
持分法による投資損益 (△は益)	44	812
減損損失	—	128,600
売上債権の増減額 (△は増加)	△245,971	△143,591
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,908	53,704
未払債務の増減額 (△は減少)	△97,964	△48,268
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,175	△63,971
その他	17,859	△26,974
小計	463,458	620,845
利息及び配当金の受取額	1,028	80
利息の支払額	△4,397	△3,201
法人税等の支払額	△111,818	△297,203
法人税等の還付額	34,846	91,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	383,117	411,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,310	△42,340
無形固定資産の取得による支出	△122,642	△79,913
事業譲受による支出	—	△18,260
貸付けによる支出	△25,000	—
差入保証金の差入による支出	△7,264	△64,121
その他	500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,717	△204,635
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	△482,000
長期借入れによる収入	—	880,000
長期借入金の返済による支出	△71,532	△81,532
非支配株主からの払込みによる収入	—	4,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	328,468	321,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,509	398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	542,358	528,945
現金及び現金同等物の期首残高	2,139,139	2,377,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,681,497	2,906,694

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネットマ ーケティング事業	アドテクノロジー 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,792,070	4,754,287	9,546,357	65,424	9,611,781
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	1,670,757	1,670,757	244	1,671,001
計	4,792,070	6,425,044	11,217,114	65,668	11,282,783
セグメント利益	219,196	706,914	926,111	25,193	951,304

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報メディア事業、クリエイティブ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	926,111
「その他」の区分の利益	25,193
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△362,072
四半期連結損益計算書の営業利益	589,232

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネットマ ーケティング事業	アドテクノロジー 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,091,838	5,588,792	9,680,630	139,462	9,820,093
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,449	1,409,750	1,412,199	124	1,412,323
計	4,094,287	6,998,542	11,092,830	139,587	11,232,417
セグメント利益	248,185	731,277	979,463	33,729	1,013,193

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報メディア事業、クリエイティブ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	979,463
「その他」の区分の利益	33,729
セグメント間取引消去	△4,150
全社費用(注)	△257,371
四半期連結損益計算書の営業利益	751,670

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

アドテクノロジー事業において、一部のシステムについては当初想定していた収益を見込めなくなったため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては128,600千円であります。